



# ねえ知ってる？世界のためにできること 今日から実践！SDGs

SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標) は、平成27年(2015年) 9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された平成28年(2016年) から令和12年(2030年) までの国際目標です。



問い合わせ 環境課廃棄物対策担当

## ▶紙のリサイクル

紙は、使用された後、古紙として分別・回収を経て再び新しい紙に生まれ変わります。正しく分別を行い、リサイクルを進めることで資源の有効活用やごみの削減を図ることができます。

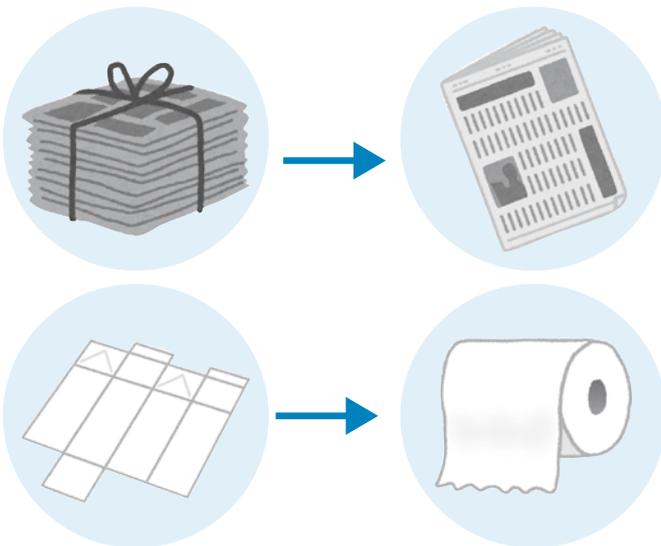
### 古紙のゆくえ

新聞紙は新聞や雑誌など、雑誌類や段ボールは段ボールなど、紙パックはトイレトーパーなどになります。

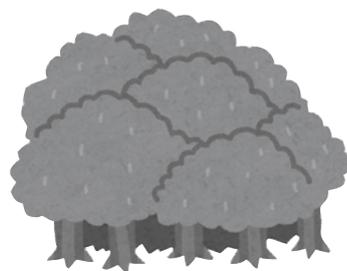
#### リサイクルできない紙もあります

古紙に混ざると、トラブルや不良品の原因になります。

例：においの付いた紙・芳香紙、汚れた紙(食べ物や油が付着した紙、使用済みペーパータオルなど)、粘着物(シール)、圧着はがき(親展はがき)、印画紙(写真)など



紙の原料は、元をたどれば全て木材(パルプ用材)です。不要になった紙を安易にごみにすることは、貴重な森林資源を浪費することにつながります。視点を変えれば、古紙は貴重な資源であり、製紙原料の安定確保のために紙リサイクルは重要です。



## ▶古紙の回収

月1回(※4月・10月は月に2回)

一部の地域では、古紙の回収を行っていません。地域で行っている資源集団回収の機会をご利用ください。

参考：(公財)古紙再生促進センター

## くりっかの可燃ごみレポート

各家庭から出された可燃ごみの速報値です

令和5年1月の可燃ごみ	昨年同月との比較
全体量	828.73 t / - 9.69 t
処理費用	34,185,113 円 / - 399,713 円
1人当たりの量	15.17 kg / - 0.11 kg
1人当たりの処理費用	626 円 / - 5 円

年度末は、古紙類が多く発生する時期です。リサイクルできる古紙類は、正しく分別して古紙・古布の収集日または地域の集団資源回収に出しましょう

※数値は四捨五入しています。  
※処理費用は、全体量に41,250円/tを乗じたものです。  
※1人当たりは、当該月の総人口を基に算出しています。

